

# 「不整脈」

循環器内科

山香病院だより vol.80

こんにちは。昨年11月より

大分大学医学部循環器内科・臨床検査診断学講座から常勤医の派遣が始まりました。当科の詳細はウェブサイトをご覧いただければ幸いです。今回は私達が得意としている心臓病のなかから、「不整脈」についてお話しします。

不整脈を症状(感じ方)の違いで分けてみました。

## 1, 脈が飛ぶ不整脈

最も多い不整脈で、例外収縮と呼ばれる時には3回に1回規則的に出ていたりや、何回かに1回ドキッとすると言う人もいます。

このタイプの不整脈は良性で、健康を害さないことが殆

どですので心配はいりません。ただ、数が多くなると心臓の負担になることがあります。元々心臓病を持っている人や症状が気になる人は受診をお勧めします。

## 2, 脈の速くなる不整脈

近年ご高齢の人に増えている不整脈で、多くが、心房細動と呼ばれるものです。

脈が遅くなるので動悸を感じることもありますが、人によっては症状が無く、健康診断で初めて指摘されることもあります。

この不整脈の診断は患者さんご自身でも可能です。手首の親指側の動脈に触れるか、わからない時は胸に手をあててください。通常心臓は1分間に60、80回規則的に拍動しています。これが120回以上になり、不規則(リズムが不整)であったら心房細動の可能性が高いです。

心房細動は本能的には良性の不整脈で、きちんと治療すれば寿命が短くなることはありません。しかし、脳梗塞を合併することがあり内服治療が必要です。最近効果の高い

脳梗塞予防の新薬も発売されています。気づいたら一度受診をしてください。

## 3, 脈の遅くなる不整脈

不整脈は脈の遅くなるものと思われがちですが、脈が極端に遅くなる不整脈もあります。元々若いころから脈が遅い人、スポーツをされていて脈の遅い人もいますが、その場合は問題ありません。

脈の遅くなる不整脈が出現した場合は、意識が低下し、最悪の場合は失神したり、体がだるくなったりします。そのような症状があったら、血圧計や、前述した方法で脈を計ってみてください。通常1分間に60、80回であるはずの脈が50回以下になっていたらこの不整脈による症状の可能性があります。症状がひどい場合は、夜間でも救急外来を受診してください。場合によっては緊急治療が必要なこともあります。

不整脈に限らず心臓病について疑問があれば、遠慮なく当科を受診してください。